

校番	19	ホームルーム活動	生徒会活動	○	学校行事	別紙様式2
----	----	----------	-------	---	------	-------

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立可部高等学校	校長	工藤 宏一	生徒指導主事	後藤 朋之
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『文化祭 有志による発表』

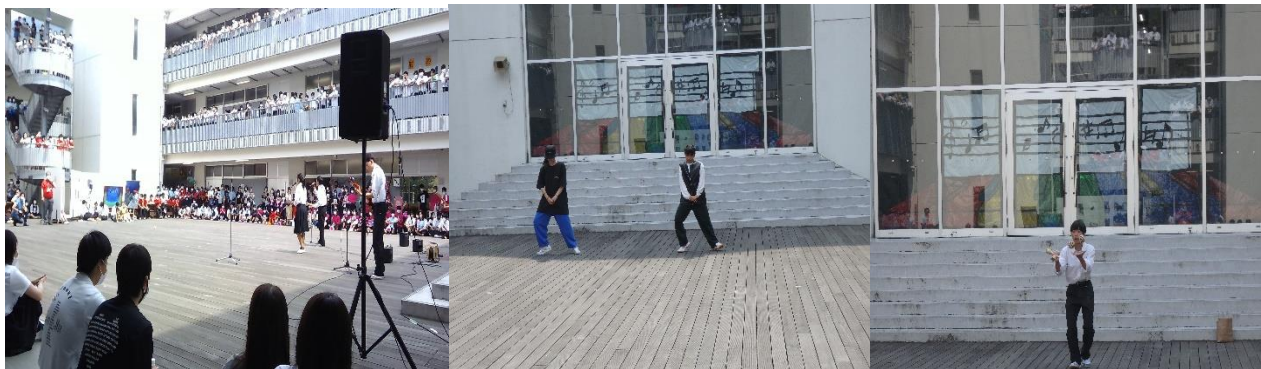
取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・積極性」	2	「自らの自信」	1

取組のねらい

自己存在感の育成

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード：一体感』
<p>(全体の流れ)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生徒会執行部による企画・立案 ② 学校長に生徒会執行部から提案 ③ 学校全体への周知後、希望者を募る ④ 希望者の集会を開き、実施の説明と精査 ⑤ 放送部と協力し会場設営 ⑥ 実施者によるリハーサル ⑦ 実施 <p>(発表内容)</p> <p>バンド演奏・ダンス演技・けん玉演技等</p>	<p>実施場所を中庭に設定。本校の中庭は、ウッドデッキでそのまま座って鑑賞できる。また、中庭を取り囲むように2・3階は廊下になっており自由に鑑賞できる。体育館と違って臨場感もあり、発表生徒・鑑賞した生徒に好評であった(写真参照)</p> <p>このような有志による発表を設定したことで、生徒の自主的な参加を促すとともに、周りを囲む多くの生徒からの声援によって発表者の自己存在感を育成することにつながった。</p>



取組の成果と課題

成果

[来場者アンケート結果] *文化祭全体のアンケートより

- ・生徒が主体になってよい行事だった⇒とてもそう思う：52% そう思う：43% 普通：5%
- ・生徒が相互に協働しながらクラス企画を運営していた⇒とてもそう思う：.45.5% そう思う：45.5% 普通：9%

来場者の感想等を見ても、「有志の発表がよかった」等概ね肯定的な意見が多かった。

課題

今回、新しい企画として実施したが、立候補者が多くいたので、今後活躍の場を増やせるように実施方法等を考えていきたい。